



当公演は、質の高いオペラを、手頃な価格で市民の皆様にご提供するとともに、公演を通して、スロヴァキアと日本との文化交流を行うことを目的としています。

since 1959  
63th

# 佐賀スロヴァキア国立オペラ 2023

バンスカー・ビストゥリツァ スロヴァキア国立歌劇場 2023 日本ツアー



コンサートオペラ

プッチーニ作曲

# 蝶々夫人

Madama Butterfly

オペラのエッセンスを凝縮し、  
ナレーションで紡ぐコンサートオペラ。  
スロヴァキア国立歌劇場のソリストたちが繰り広げる  
圧倒的な歌の世界。

第一部：コンサートオペラ「蝶々夫人」  
第二部：オペラとオペレッタ、ミュージカルの名曲

2023. **10.6** (金)

午後 6 時 30 分開演 (午後 6 時開場)  
～ 午後 8 時 30 分頃

佐賀県立美術館ホール  
佐賀市城内一丁目 15-23  
TEL 0952-24-3947

<入場料> ・全指定席 4,000 円  
・子ども 100 名無料招待



パトリツィア・マロヴェツ  
ソプラノ



カタリーナ・プロハースコヴァー  
ソプラノ



ドゥシヤン・シモ  
テノール



シモン・スヴィトック  
バリトン  
<監督、照明、舞台>



ペテル・ラチュコ  
テノール



マリアナ・サイコ  
ソプラノ



マルティナ・スヴィトコヴァー  
ピアノ



ルドルフ・フロマダ  
歌劇場総支配人



橋本ダナ  
ナレーション

<チケット申込み>

電話

- 江頭 090-8222-9832
- 諸隈 080-3377-6488

ネット



指定席受付



子ども招待受付

- 協力団体 社会福祉法人 佐賀いのちの電話  
特定非営利活動法人ホームレス支援久留米越冬活動の会
- 後援 日本チェコ協会/日本スロバキア協会北海道支部・  
スロヴァキア共和国文化省駐日・スロヴァキア共和国大使館・  
佐賀県・佐賀市・唐津市・神崎市・上峰町・  
以下の各教育委員会 (佐賀県・佐賀市・唐津市・  
神崎市・上峰町)・佐賀新聞社・サガテレビ・  
ぶんぶんテレビ・ぴ〜ぷる放送

●主催・問合せ



佐賀スロヴァキア・オペラ交流の会  
<江頭 090-8222-9832>

※益金は子供の居場所支援に用います



# Saga Slovakia Opera 2023

## 第一部 コンサートオペラ『蝶々夫人』

(ジャコモ・プッチーニ作曲 オペラ『蝶々夫人』ダイジェスト版)

### ・登場人物 / 出演

蝶々さん (没落士族の娘)	パトリーツィア・マロヴェッツ (M) / カタリーナ・プロハースコヴァー (P)
ピンカートン (アメリカ海軍士官)	ドウシャン・シモ
シャープレス (米国領事)	シモン・スヴィトック
ゴロー (斡旋屋)	ペテル・ラチュコ
スズキ (蝶々さんの女中)	カタリーナ・プロハースコヴァー / パトリーツィア・マロヴェッツ
ケイト (ピンカートンの米国での妻)	マリアナ・サイコ

本公演はダブルキャストで、M版またはP版のいずれかになります。公演当日にお知らせいたします。

### ・あらすじ

19世紀末の長崎。ここに赴任してきたアメリカ海軍士官のピンカートンは、斡旋屋のゴローに、住む家と現地妻になる女性の紹介を依頼します。ゴローは丘の上の素敵な家に、元は武家ですが父親が自害したため、若くして芸者となった蝶々さんを連れてきます。互いに好意を持った二人の間に早速契約が交わされ、蝶々さんの親戚も参列して結婚式が行われます。しかし蝶々さんがキリスト教に改宗したことを知った僧侶の叔父は、花嫁がご先祖様を裏切ったと怒り、親戚は彼女を勘当してその場を立ち去ります。蝶々さんの一途な心を知っている米国領事のシャープレスはピンカートンの軽率な振る舞いを見て、蝶々さんの将来を案じます。

蝶々さんの幸せな結婚生活も東の間、ピンカートンはアメリカに帰ることになります。すぐに戻ってくると約束しますが、1年、2年と過ぎていき、蝶々さんの暮らしも段々と苦しくなっていきます。斡旋屋のゴローからは新しい結婚相手を紹介されますが、蝶々さんは夫の帰りを信じて断ります。領事のシャープレスは、夫はもう戻ってこないという手紙を持ってきますが、蝶々さんに子供がいると知って、その内容を伝えられません。逆にピンカートンに子供のことを知らせると約束して帰ります。そして3年経ったある日、港にアメリカの軍艦が入港します。それに夫のピンカートンが乗っていると知った蝶々さんは一晩中家で夫の帰りを待っています。彼は次の日の朝、妻と一緒にやってきますが、女中のスズキから蝶々さんの想いを聞いて、その場から逃げてしまいます。目が覚めた蝶々さんは庭先にいる外国人の女性を目にし、彼女がだれなのかすぐに悟り、絶望します。蝶々さんはピンカートン夫人の申し出を聞き、父親が迎えに来るならば、愛する息子を引き渡すと約束します。そしてピンカートンが子供を迎えに来ますが、時すでに遅し。蝶々さんは父の形見の短刀で自害し、息を引き取ります。

## 第二部 オペラとオペレッタ、ミュージカルの名曲

1. A. ドヴォルザーク「ルサルカ」より「王子のアリア」…………… P. ラチュコ
2. G. プッチーニ「ラ・ボエーム」より「ミミのアリア」…………… P. マロヴェッツ / K. プロハースコヴァー
3. J. オッフェンバック「ホフマン物語」より「オランピアのアリア」…………… M. サイコ
4. G. ロッシーニ「セビリアの理髪師」より  
「黙って、黙って、静かに、静かに」…………… M. サイコ、P. ラチュコ、S. スヴィトック
5. E. カールマン「チャールダーシュの女王」より「シルヴァの歌」…………… P. マロヴェッツ / K. プロハースコヴァー
6. J. シュトラウス「こうもり」より  
「ロザリンデとアイゼンシュタインのデュエット」…………… M. サイコ、P. ラチュコ
7. A. ララ「グラナダ」…………… S. スヴィトック
8. F. レハール「微笑みの国」より「スー・チョンのアリア」…………… P. ラチュコ
9. L. パーンスタイン「キャンディード」より「着飾ってきらびやかに」…………… M. サイコ
10. E. カールマン「チャールダーシュの女王」より  
「ハイマーシ・ペーテルとパール」…………… P. マロヴェッツ / K. プロハースコヴァー  
P. ラチュコ、S. スヴィトック
11. F. サルトーリ「タイム・トゥ・セイ・グッバイ」…………… ソリスト一同